

平成28年度 再評価

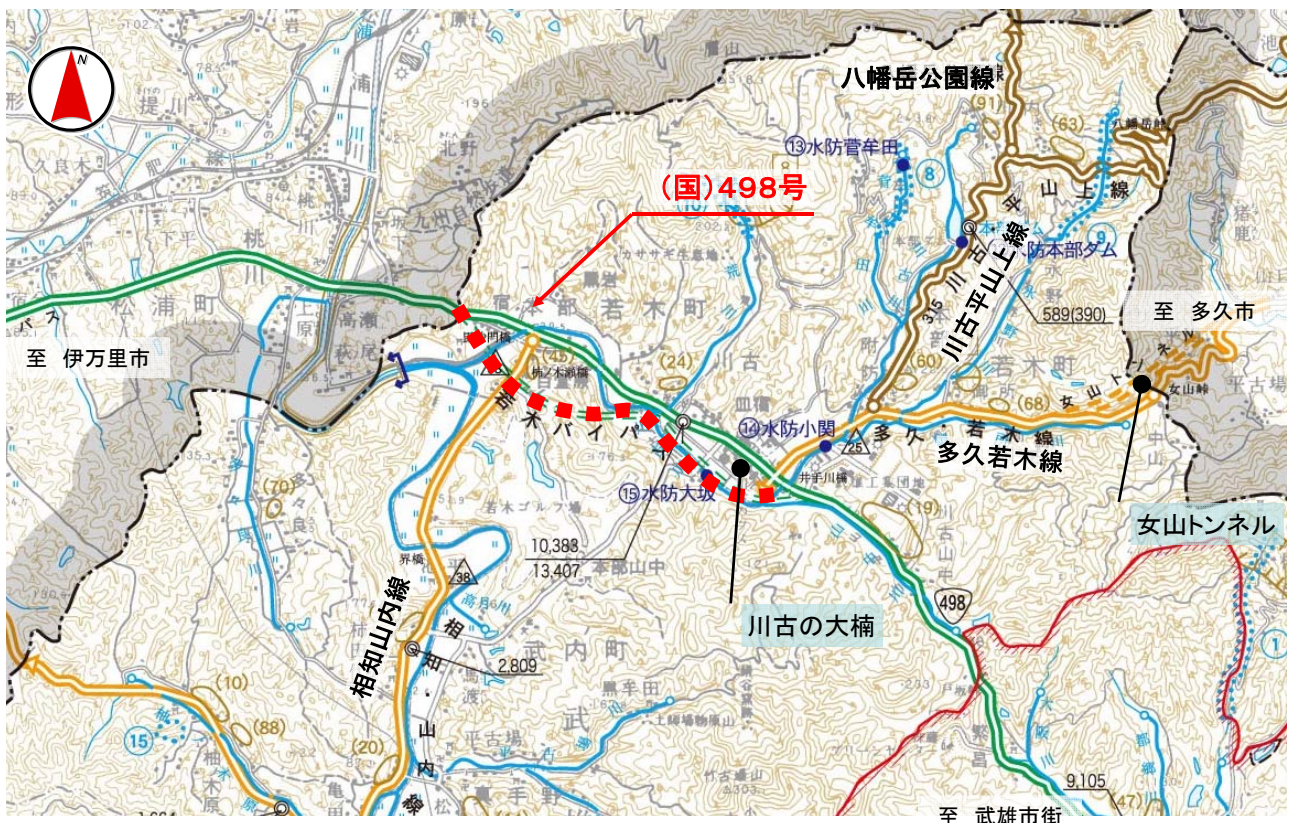
路線名：一般国道 498号
(若木バイパス工区)

事業名：道路整備交付金事業

事業地：武雄市若木町川古～
伊万里市松浦町桃ノ川

(事業採択後10年が経過)

一般国道 498号 位置図



事業目的

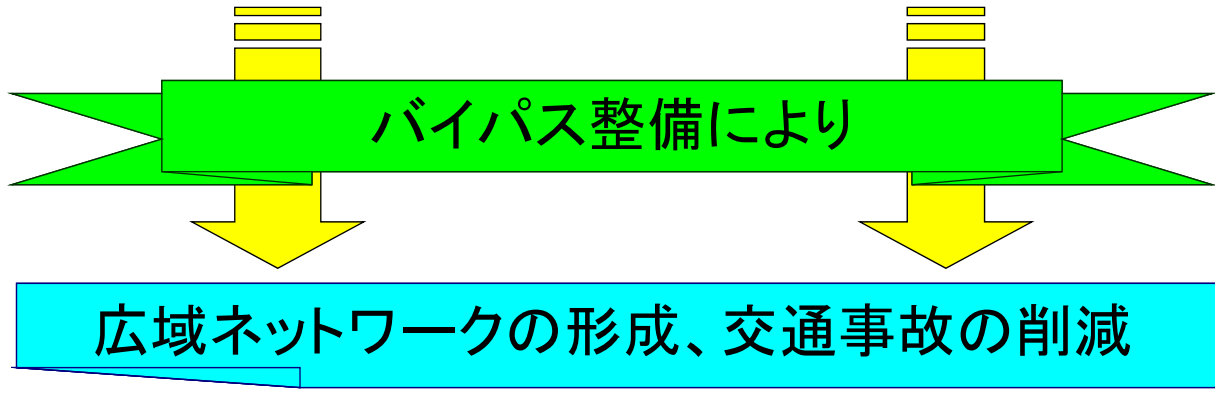
1

国道498号は
4幹線の一つ



幅員が狭小で
交通事故が多発

2



事業概要

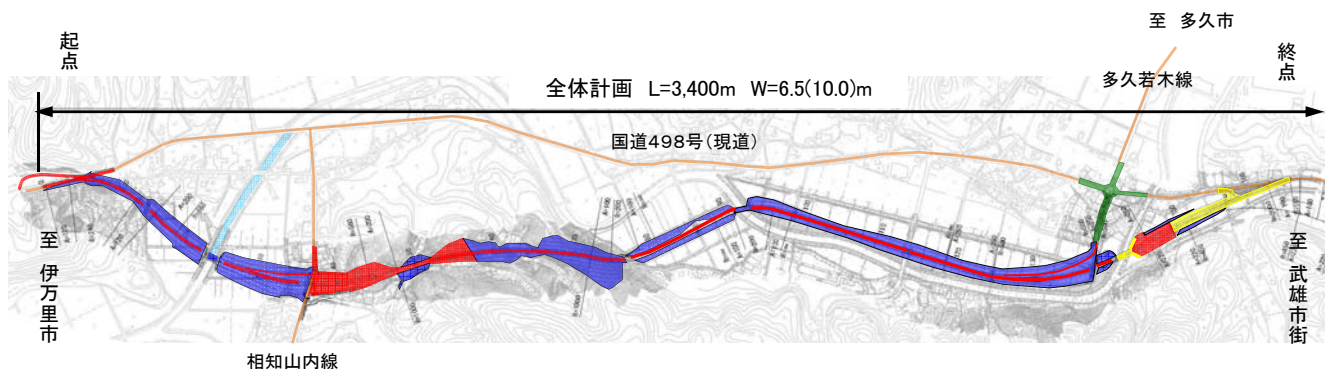
- 全体事業費: 57.4億円
- 工期: 平成19年度～平成29年度
- 全体延長: L=3,400m
- 事業内容: 改良工 L=3,180m 橋梁工 N=4橋(220m)
 函渠工 N=17基 舗装工 L=3,180m
 測定 1式 用地補償 1式

事業の進捗状況

	平成27年度まで	平成28年度	平成29年度以降
事業費(億円)	41.3	11.4	4.7
進捗率(%)	72.0	91.8	100.0
用地進捗率※(%)	98.0	100.0	100.0

※面積ベース

一般国道 498号(若木バイパス工区) 平面図



凡 例		
工 事	青	平成 27 年度まで
	赤	平成 28 年度施工箇所
	黄	次年度施工箇所

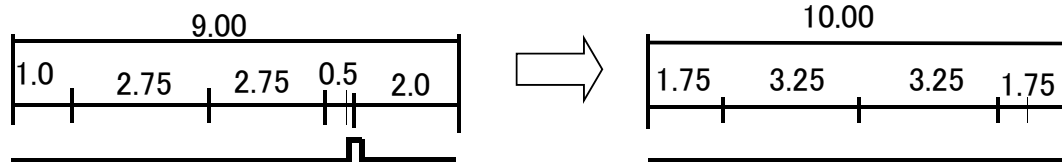
平成28年 現地状況



一般国道 498号(若木バイパス工区) 横断図

現況(現道部)

計画(バイパス部)



事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 平成25年度に重要港湾伊万里港の大型船舶に対応する-13m岸壁と荷役設備(ガントリークレーン)の整備により、大型車の通過交通の増加が見込まれる。
- また、県東部地区と伊万里市を結ぶ道路のなかで交通難所である女山峠のトンネル工事も順調に進んでいる。
- 平成27年1月に武雄北方インター工業団地に大同メタル工業(株)との進出協定を締結し、平成28年6月より操業開始。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 131.6 / 65.3 = 2.02$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	107.2億円
走行経費縮小便益	=	8.1億円
交通事故減少便益	=	16.3億円
合計		131.6億円

【費用】

事業費	=	61.1億円
維持管理費	=	4.2億円
合計		65.3億円

※基準年(平成28年度)における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 当該事業箇所はバイパスによる整備であるため、整備効果を発現するためには、事業の継続が必要である。
- 当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。